

野球部でがんばるぞ



上塚小学校6年
木島 学

サル年は、ほくのとです。4月から中学生です。小学校とちがって、教科ごとに先生変わるので、楽しみです。今は、毎週日曜日にソフトボールの練習をしているので野球部に入りたいと思います。勉強や部活動がんばりたいと思います。

書道で6段目指す



横芝小学校6年
木津川 美恵子

「習字の先生になる」これが今の私の夢です。4月には中学生になります。将来この夢が実現できるように、これから一歩ずつ努力を重ねていきたいと思っています。毎日1枚は必ず練習をして、六段をとることが、今年の私の目標です。精いっぱいがんばります。

今年 は申年

さる



平成4年は申年です。サルは、桃太郎やサルカニ合戦にも登場する、おなじみの動物です。

ひとくちにサルといっても、体重や種類など、実にさまざまです。ゴリラなどの大きいものでは、体重が200kg以上もあります。一方、マダガスカルにいるミミゲコビトキツネサルは、体重45gほどです。また、大きなシツポをもち、木の上で生活する原猿（下等霊長類）のなかには、一見リスに似たものもあります。そのほか、オラウータンやチンパンジーなどのように、

ヒトニサル（人似猿）といわれる高等霊長類もいます。日本に生息しているのは、ニホンザルです。顔とおしりの赤い、おなじみの猿です。ニホンザルの南限は鹿児島県の屋久島、北限は青森県の北端の北半島です。沖縄と北海道にはいません。

つられていきます。ことわざにも、サルにまつわるものがいろいろあります。だれでも知っているのは、「サルも木から落ちる」でしょう。これは、サルを木登りのベテランとしているわけですが、一方、「サルまね」「サル知恵」などになると、サルは笑いの扱いされています。

とくろで最近野生のニホンザルを見る機会が多くなりました。観光用に餌づけしたサルが人前に現われたり、開発で山のエサがなくなつたために里に出て、ドライバーにエサをねだつたりということが多くなつてきているようです。

サルを間近に見られるのは楽しいのですが、やはり野生動物と人間は、適当な距離を置いて共存するのが自然ではないでしょうか。サル年を機に、こんなことも考えてみませんか。

ニホンザルは、昔から日本人に親しまれてきました。昔話はもちろんですが、古事記や日本書紀にも登場し、道案内をするサルタヒコノカミは、サルであるともいわれ、

いまでは道祖神としてま